

式 辞

皆さんの入学を祝福するように、陽光眩しい季節を迎えました。
本日ここに、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和3年度福島県立橋高等学校の入学式を挙行できますこと、関係の皆様にも厚く御礼申し上げます。
只今、入学を許可された280名の皆さん、入学おめでとうございます。
皆さんの入学を、学校をあげて、心から歓迎します。
保護者の皆様、お子様の橋高校合格、そしてご入学、誠におめでとうございます。
ご家族の皆様には、今日の入学の日を楽しみにしておられたと存じますが、1家族1名の出席にご理解をいただき、また、感染症対策にご協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんが中学3年生として過ごした1年間は、学校生活の「あたりまえ」から、大きく離れることとなった1年でした。
最後の思い出として楽しみにしていた学校行事や、中体連の大会などが開催できず、さぞ残念な思いをしてきたことでしょう。気持ちを切り替え、高校受験へと向かうのは、大変なことだったと思います。しかし、そのような中、皆さんは目標に向かって努力を続け、見事に橋高校への合格を勝ち取りました。
ご家族の皆さんやこれまで支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを持って、新しい一歩を踏み出してほしいと思います。

さて、今日から皆さんは高校生です。どんな生活が待っているのか、皆さん、ワクワク、してますか？緊張の方が大きいですか？
皆さんには、本校ならではの「橋文化」と呼ばれる校風を存分に体感し、思い描いてきた以上の高校生活を、ぜひ皆さん自身の力で創ってください。
いま、私は、「皆さん自身の力で」と言いました。
高校では、より能動的に、自分から行動することが求められます。
また、高校時代は、自分のことだけで無く、他の人や、世の中のこと、世界のことを、自分との関わりとしてとらえる中で、社会に出て行く準備をする期間でもあります。
そのために学ぶことは沢山あります。
知識が増え、見える世界や行動する範囲が広がる、そんなワクワクを沢山経験してほしいと思います。そして、皆さんには、一日一日を大切に、誠実に生きてほしい。人の痛みや気持ちがわかる人間になってほしい、そう願っています。
更に素晴らしい橋高校を、一緒に創りあげ、皆さんの夢を実現していきましょう。

保護者の皆様、改めまして、お子様のご入学、誠におめでとうございます。
今日、入学式を迎えたお子様の姿をまぶしくご覧になったことと思います。
大きくなったなあ、と感慨深く思われたのではないのでしょうか。
これからの高校生活は、更に大人へと一步一步成長する3年間ですが、時に、心と身体のバランスが保ちにくく、様々なことに悩みながら模索する期間でもあります。
この時期に、親としてどうしたらいいのか、私自身も悩んできたことです。
親として、いつまでも手をさしのべていたい、それは素直な感情だと思っています。しかし、親の役割や親の幸せは何かと考えたとき、子どもが、自立した一人前の人間として、社会人として成長すること、これこそが最も大切なことだと思います。
ときに背中を押し、ときに立ち止まり、見守り、支えながら、少しずつ、少しずつ、手を離していく、そんな3年間を、私たち教職員も、保護者の皆様と一緒に歩んでいきたいと思っています。
私たち教職員は、皆様にとってかけがえのない存在であるお子様の教育に、全教職員一丸となり、寄り添いながら、お子様の成長と進路希望実現のために全力を尽くしてまいります。
3年後、橋高校卒業の日には、今日の眩しさとは格段に違う成長した姿が待っています。
毎日、少しずつ大人になっていく子どもたちの姿を、一緒に楽しみにしてまいりましょう。
保護者の皆様には、本校の教育について、深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆様にも重ねて感謝を申し上げますとともに、新入生の皆さんの橋高等学校での充実した生活を願って式辞といたします。
新入生の皆さん、頑張ってください。